ノブちゃんの報告

晴耕雨読 2023/ 12/08

「アゲハチョウ日記・流星群他」

前川　義信

1　庭のアゲハチョウ幼虫

地球規模の気候変動が問題になる中、温暖化の影響を肌で感じています。庭にネコの糞尿対策で玄関脇に植えたヘンルーダ（ミカン科ヘンルーダ属）に毎年アゲハチョウの幼虫が見られます。

＜幼虫画像　2023 年 11 月 23 日＞

＜サナギ画像　2023 年 12 月 08 日＞

今年は、いつまで見られるのだろうと期待しながら見ていましたが、ついに 12 月 3 日を最後に姿がなくなりました。また、家の壁にさなぎの殻が 2 つあります。地面から高さ 30 ㎝のところに一つ。もう一つは屋根のひさしの近く 200 ㎝を超える高さのところにあります。30 センチの高さにあるものは、すでに空になっています。10 月下旬にでも成虫になっていたようですが、200 ㎝の高さにあるものは、11 月になって気づき、まだ茶色なので、このまま越冬しそうです。

今年のさなぎはこれだけですので、寂しい限りです。

来年は、生け垣の一部にヘンルーダの苗を増やしてアゲハチョウが来るのを楽しみたいと思います。

2　ふたご座流星群条件最高！

＜ふたご座流星群火球　2022 年 12 月 14 日＞

2023 年のふたご座流星群は、いよいよ来週 15 日午前 4 時の極大時刻に向けてこれからどんどん出現数が増えていきます。

この群の母彗星は、実は小惑星ファエトンであることが確定し、小惑星由来の流星群になります。

暗い空では、14 日夜から 15 日早朝にかけて 1 時間観測流星数は 100 個を超える可能性もあります。極大日前後は、防寒対策をしっかりとして観察をしましょう。

このような好条件になるのは 3 年後の 2026 年になりますので、暗い空と晴れ間を狙ってぜひ観測されることをお勧めします。

私は、極大日を挟んで 13-14 日、14-15 日、15-16 日の 3 日間を観測予定日としました。

３　2024 年の星空情報

【1 月】
　4 日木 18 時　しぶんぎ座流星群極大　△
18 日木 18 時過ぎから　月面Ｘ
28 日日明け方水星と火星が最接近（15’）

【2 月】
15 日木夕方～深夜月と木星が接近(3 度以上)
22 日木 18 時 46 分金星と火星が最接近(37’)
25 日日 23 時 59 分月が最遠 40 万 6312 キロ

【3 - 4 月】
ポン・ブルックス彗星(１２P)が５等前後

【3 月】
17 日日 23 時 23 分月面Ｘ

【4 月】
6-7 日土日明け方、月と火星、月と土星が並ぶ
　9 日 03 時 21 分北アメリカ皆既日食（遠征）
22 日月 16 時こと座流星群極大

【5 月】
5-6 日みずがめ座η流星群極大
5 日日 12 時 11 分-13 時 20 分火星食

【6 月】
20 日木 18 時 58 分アンタレスの食（出現）
28 日金明け方月と土星が大接近（50’）

【7 月】
25 日木 06 時 30 分-07 時 24 分土星食
30 日火みずがめ座δ南流星群・やぎ座α群極大
31 日土明け方月と月と火星・木星ヒヤデス星団
　　接近

【8 月】
10 日土伝統的七夕
　　20 時 25 分おとめ座αスピカの食
12 日月 23 時ペルセウス座流星群極大
15 日木明け方火星と木星が接近

【9-１０月】
ツーチンシャン(紫金山)・ATLAS 彗星
(2023　A3)が 1 等級前後の明るさか？

【9 月】
9 日月土星がみずがめ座で衝
17 日火中秋の名月(十五夜)
28 日土ツーチンシャン(紫金山)・ATLAS 彗星
　(2023　A3)が近日点を通過

【10 月】
　3 日木 03 時 49 分南太平洋・チリ・アルゼン
　　チンで金環日食
13 日日 00 時ツーチンシャン(紫金山)・ATLAS
　　彗星(2023　A3)が地球に最接近 0.47AU

【11 月】
12 日火 15 時おうし座北流星群極大
17 日日 21 時しし座流星群極大

【12 月】
　8 日日 07 時 24 分木星が衝
　　18 時 19 分-19 時 02 分土星食
14 日土 03 時~04 時 10 分プレアデス星団の食
　　10 時ふたご座流星群極大
25 日水 04 時 13 分おとめ座スピカの食